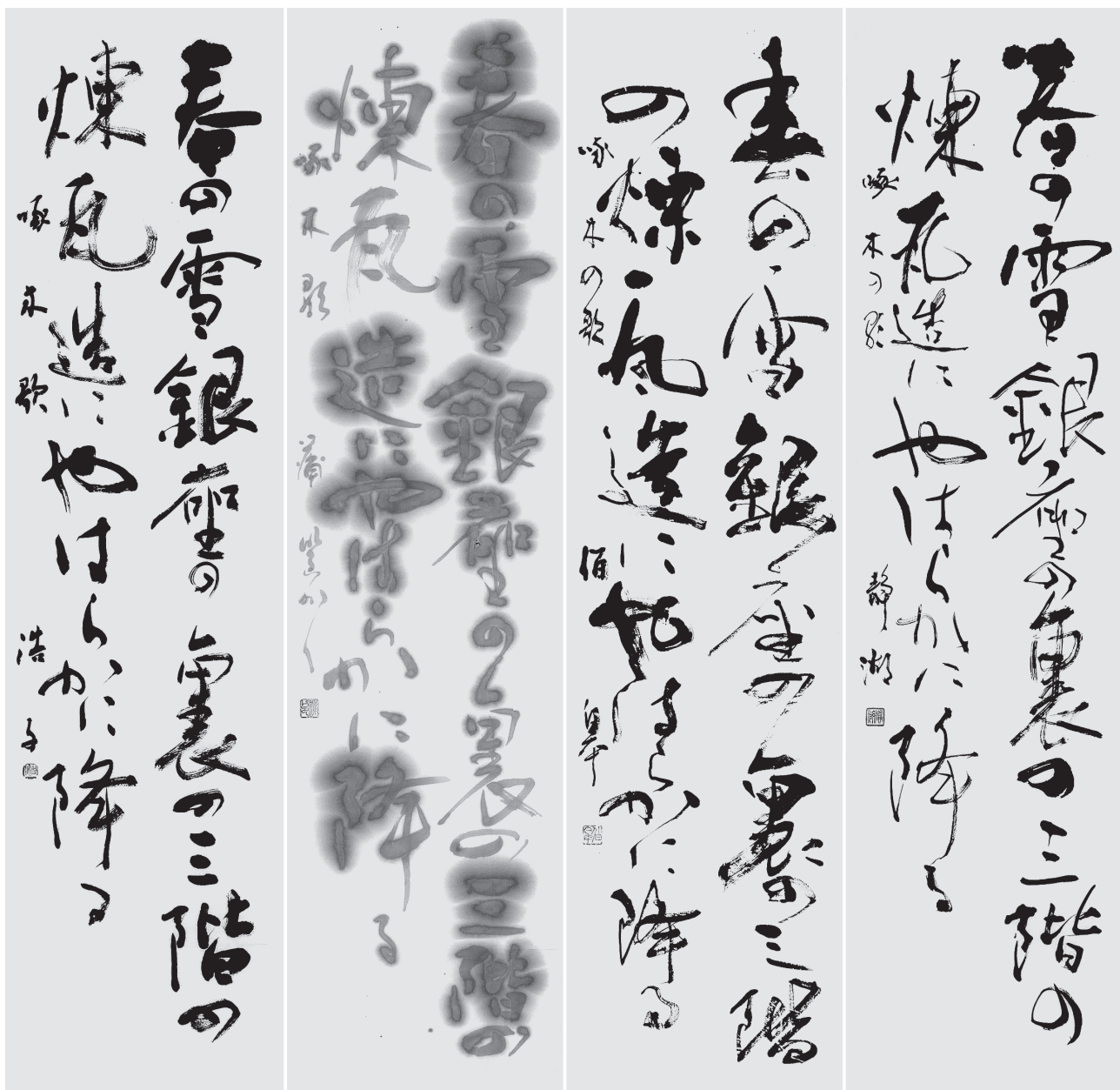


武良霜伯先生選評

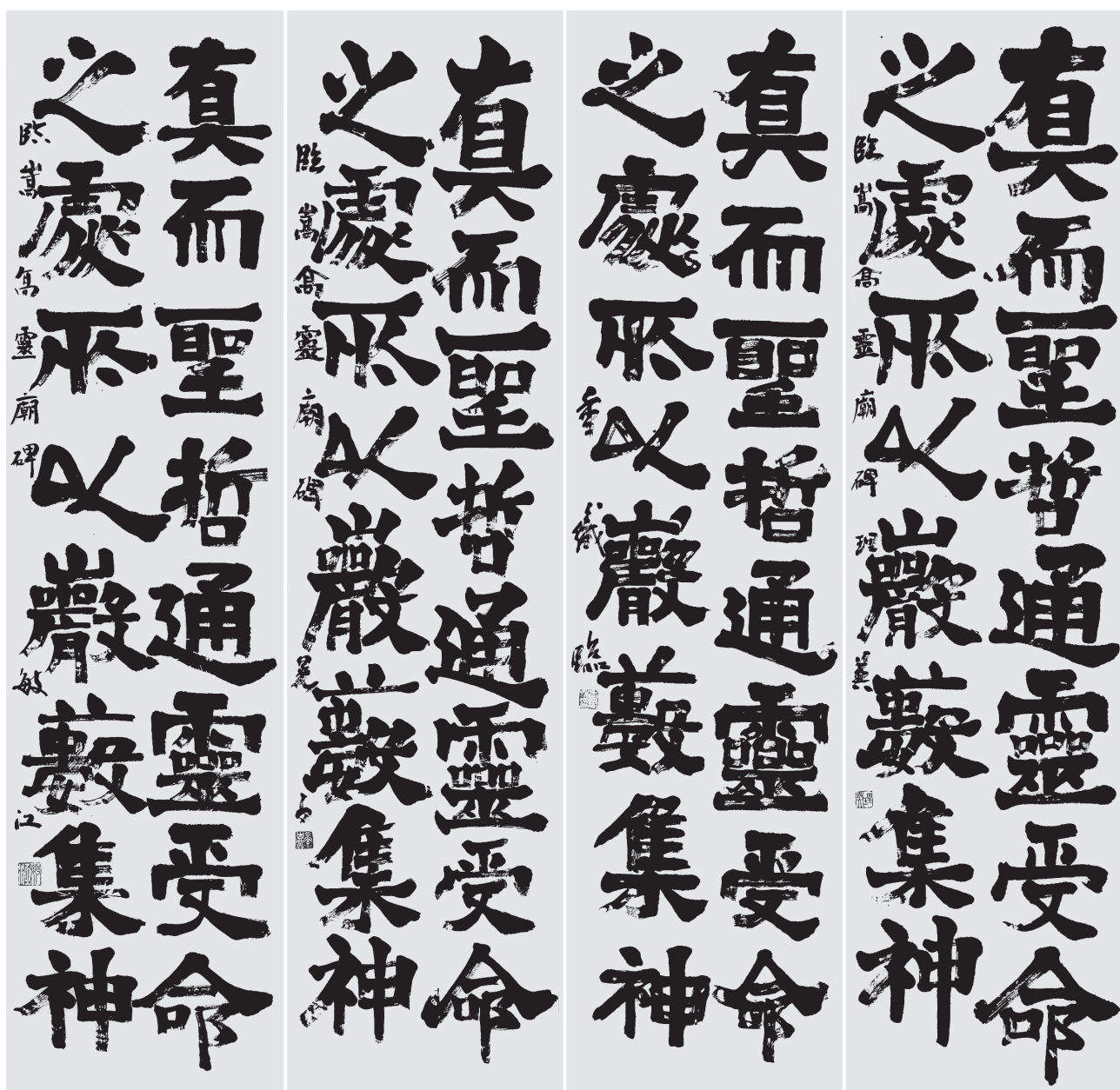


赤石 静湖 推選
筆の握りの柔らかさ、難しい剛毛なのか、楽に運筆しており、その中にも良く拝見すると、潤渇、文字の大小、疎密、線質、太細等見応えの満載な作品でした。

下司 伯皋 推選
兎に角動いている。作品全体に「気」が感じられ、纏め方や観る者への気遣い等、等微塵も無いぞと言わんばかり。堂々とした書作態度に感服させられました。

養島 蒲邨 推選
啄木の「春の雪」の情感に合って、潤いある表現で余情溢れる作。澄み切った青墨が美しい。貴殿の淡墨作品に拘る前向きな姿勢に敬服しております。

阪井 浩子 推選
兼毫筆の硬い毛と柔らかい毛の併せ持つ特徴を上手く使いこなしている。「春の・三階の・やはらか」の潤筆の三角形が良く利いている。上級者の腕の確かさが光る。



山村理英 推選
一字目大きいが潤渾、大小あり落筆高いので起筆切れ味良く大きな動きで伸びやかな線が魅力です。一つ残念なのは二行目の字粒がやや揃ったこと。小さい字も。

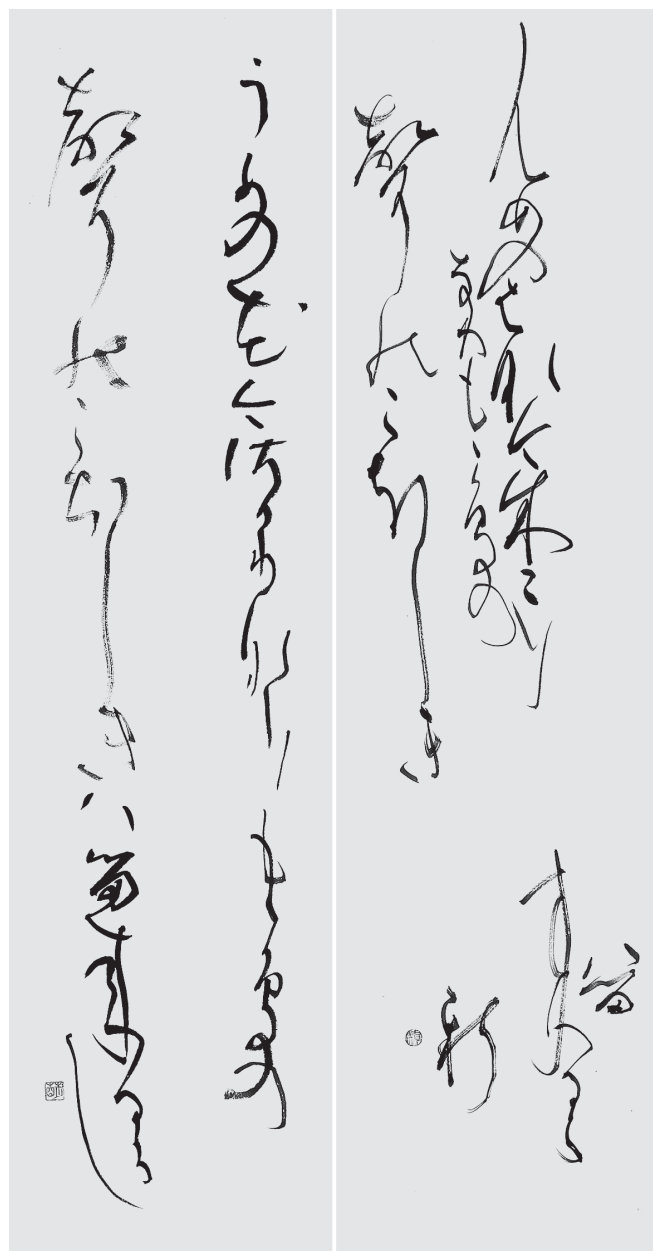
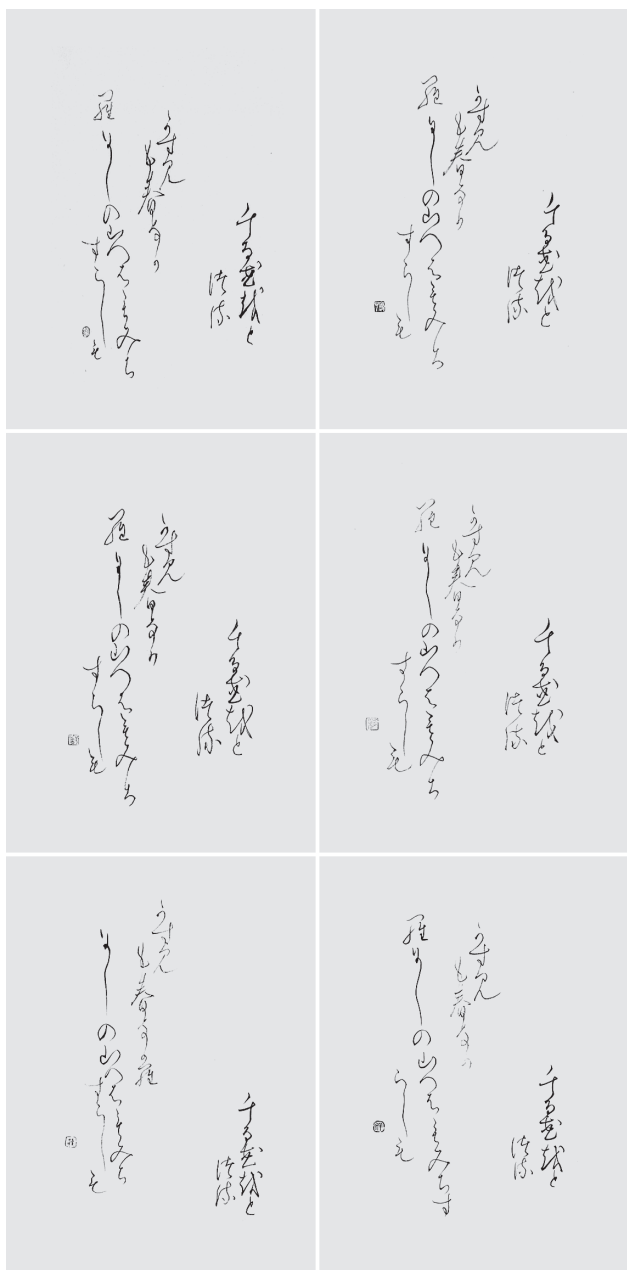
鯨井香織 推選
筆力、墨量、字の大きさ、配字申し分なく素晴らしい。ただこれだけ力強い作に印泥少なめの白文はどうなのでしょうか。

富永晃子 推選
濃墨ですが書き急がず筆圧充分で筆の弾力を見事に使いこなし白が美しく明るい作品に仕上げました。お名前下すぎます。「藪」の横少し下位に印では。

佐藤敏江 推選
いい筆をお使いの様ですが、ならば渴筆線、息をゆつくり吐きながらそれに合せてゆつくり引きたい。貴方も白が美しく明るい作。そしてお名前下すぎます。

吉澤真理先生選評

白幡陽子先生選評



小林悦子 八段
浮き沈みのきいた
凛とした線質で清
涼感のある作です。
中央部分にカスレ
を加味すると立体
感が増すでしょう。

村田春暉 準八
力強く厚みのある
線でダイナミック
に書き進みました。
墨量に考慮し潤渇
の変化が強調され
ると更に魅力的に。

森野桂子 七段
古筆によく心くば
りをして好感がも
てます。紙面構成
としては後半にも
っと伸びやかさが
ほしかった。

後藤煌雪 師範
原帖の凛とした線
の響きと流動感の
ある柔らかな細線
が流れています。
潤渇の変化も程よ
く魅力ある作とな
りました。

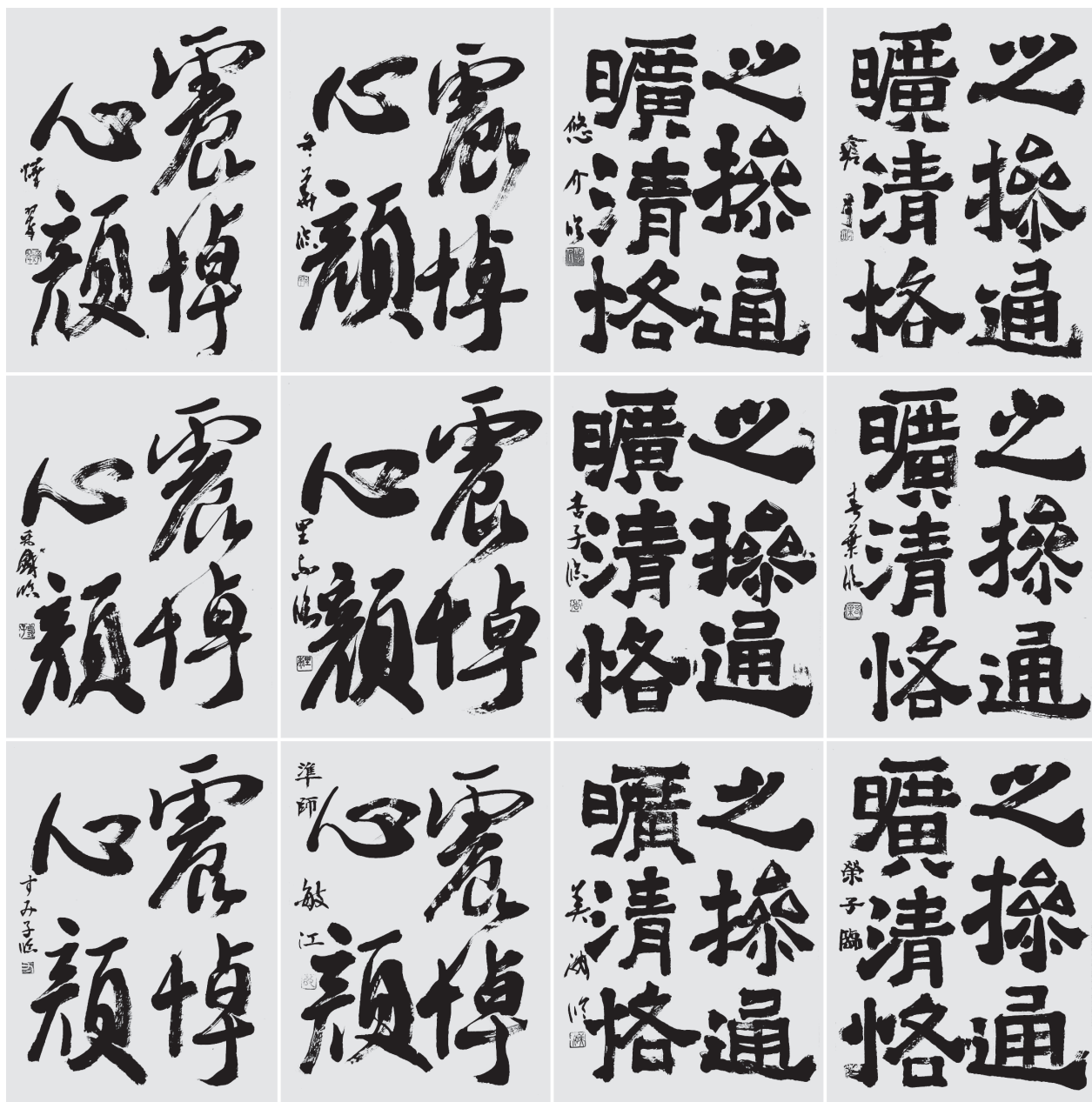
長谷川彩光 師範
引き締まった線質
と迷いのない運筆
で存在感のある堂
堂とした作です。
紙面全体の balan
スも見事です。

湊谷洋子 準師
落ちつきのある柔
らかな書線でゆつ
たりとした雰囲気
が漂っています。
後半に浮沈の変化
が加わると更に魅
力ある作に。

富澤萌未 推選
穏やかな温かみある線条で
自己を表現された作。確か
な運筆は美しい自然な潤渇
を生じ心地よい。右行の半
ば、もう少し振幅が加われ
ばと惜しまれます。

枝長真美 推選
難度高い書き出し、連綿を
筆管を立て、キリリと締め
たゆるぎない線条。勁さと
しなやかな筆力の変化見事。
更に墨彩の移ろい美しく、
早春の香漂う気品ある作。

藤田壽樹先生選評



芳賀瑠月 師範

兼毛筆を用いての表現と思われ、ますが、じっくりと運筆した線は紙面に良く食い込み、豊かな表情を見せています。太細の変化も素晴らしい。

百枝春葉 七段

真面目でおっとりとした雰囲気を持った作品に見えます。はねや払い等の細部まで良く観察が行き届き、原帖の特徴が捉えられており見事。

鑒子 五段

線に円みがあり揺るぎない書きぶりが目を引きます。特に送筆の速度がゆったりとし、丁寧な蔵鋒が大変印象的です。落款も原本に合わせ佳。

蒲澤悠介 準五

偏と旁の取り方が絶妙で、余裕を感じ。収めも完璧で紙面が明るい。悠揚さは送筆にも現れ、穏やかな中にも品格があつて心引かれます。

圖師杏子 準三

墨量が豊かで、直線を意識した筆致で成功しています。素朴な趣の筆線に比して造形面では、巧妙に且つ理知的に表現しており見事です。

山口美洲 準初

心のこもった書きぶりで、特に「通」の字や、二行目の三文字が素晴らしい。渴筆や字の構え、鋒先の良く絡んだ味のある線は見応え充分です。

小林冬華 師範

表情豊かな粘りのある線で臨書された、完成度の高い熟練の技の作品です。軽めの渴筆や沈んだ深みのある潤筆は特に魅力に溢れています。

白澤里奈 師範

気力横溢した書きぶりで見事。円みのある線、太細の変化、懐の広い造形、そして何より率直な筆遣い。正に王道を行くもので流石師範です。

佐藤敏江 準師

濃墨、柔毛筆を駆使して成功した作品です。鋒先を使った軽い線と筆圧を加えた肥厚な線の調和が自然で美しい。明るくしなやかな作で感服。

梅本燐翠 七段

長鋒の柔毛筆を用い、息の長い粘りある線に心奪われる。相当な実力者と見受けられます。時に筆を変える等の殻を破ることに挑戦してみても。

増元采鐵 準五

淀みなく明るい暢びやかな、素直で軽やかな運筆を感じ、清澄な気分がさされます。また字内空間も良く工夫されていて感心します。

村田すみ子 準二

素直な筆遣いと真摯な臨書態度を感じ、原帖の持つ強い精神を反映させているように思います。益々の精進を期待します。落款には一考を。